

大塚地区
かわら版
第5号

大塚地区
まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

将来の大塚地区と公共施設の姿について、皆さまとともに考えています。

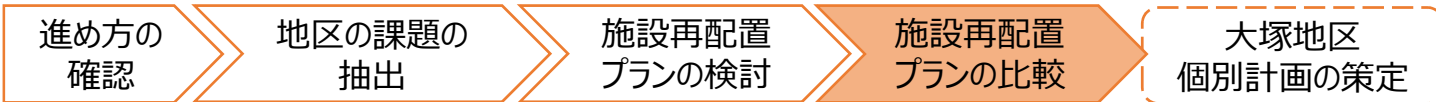
蒲郡市では、今後の人口減少・少子高齢化が進む社会情勢を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため、「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで地区内にある公共施設（小学校・中学校・保育園・児童館・公民館）の将来のあり方について皆さまに考えていただく機会として、「大塚地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催してきました。3月27日(日)に最終回となる第5回ワークショップを開催しました。その内容を中心にこれまでいただいたご意見等をお知らせします。

また、ワークショップで話し合われてきた内容についてご意見を引き続き募集しています。「ご意見募集」欄をご覧ください。

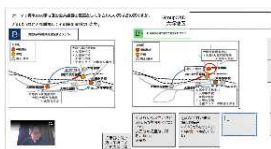
検討の進め方

蒲郡市は、このワークショップをはじめ、広く地区の皆さまからいただいたご意見を反映させた、大塚地区の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」を策定します。令和3年8月から計5回にわたる検討を進めてきました。第5回ワークショップでは、施設の再配置プランを比較しながらどの案が地区の将来の姿としてふさわしいかについて話し合い、施設の再配置を考える際に運営面等で配慮しなければならない事項（付帯事項）についても意見を出し合いました。



第5回ワークショップ 3月27日(日)開催

これまでのワークショップの検討を踏まえ、将来の大塚地区の公共施設の配置としてふさわしい案について話し合いました。



地区内の小中学校・保育園・児童館・公民館の配置や活用方法を定めます。

7つの再配置プラン案の比較検討

ワークショップでは、地区内の課題や将来の姿について話し合い、それらを基に事務局が作成した7つの再配置プラン案を検討の対象としてきました。



ワークショップの中でいただいた皆さまの思い

ワークショップでは、地区の課題やその解決方法、大塚地区の将来について話し合いを行ってきました。第5回ワークショップでは、これまでの検討を踏まえ、将来の公共施設の配置としてふさわしい案を検討していただきました。全5回のワークショップで地区の皆さまからいただいた、大塚地区に関する様々なご意見を以下にまとめました。

交流

外国人との共生

- ・市内でも外国人の多い地域なので共生を考えたい。
- ・地域の外国人が施設を利用することで交流が増えるとうい。

若者の居場所

- ・高校生・大学生の居場所がない。彼らが来なくなる空間が施設にあると、他世代と顔を合わせることができる。

- ・地区の子ども達の交流機会を作りたい。

新たな居場所の創出

- ・子ども達が自宅以外に過ごせる居場所があるとよい。
- ・地区内に公園が少ない。子ども達の遊び場が欲しい。
- ・複合化した際、校庭の広さ等で子ども達に不自由させないような配慮が必要。
- ・大塚地区は人数が少ないためか子ども達の仲がよい。問題がないのであれば小中一緒にしてもよいだろう。

子どもの居場所

多世代交流

- ・施設複合化で子どもが大人の活動を身近に感じられるのはメリット。
- ・高齢者と孫の遊び場や若者の発表の場など日常的に交流できる施設となるとよい。
- ・農業を通じて世代間交流ができるようにしたい。

高齢者の活躍

- ・公民館と他施設が複合化することで、高齢者に役割を与えたい。

子育て

保育サービスの向上

- ・低年齢児保育が整っていないことが子育て世代が移り住まない要因になっている。今後も共働き世帯は増えるので改善してほしい。
- ・2保育園の統合で低年齢児や保育時間等のサービスを向上してほしい。

送迎

- ・児童クラブが1か所になると兄弟で違うクラブを利用する家庭の送迎が便利。
- ・保育園と児童クラブが同じ場所にあると送迎が一度で済む。

施設の配置

- ・公民館の立地は地区の中心に近く便利なので活用したい。
- ・分村合併により施設が地区の東端に偏っている。配置のバランスが悪い。

機能の充実

- ・公民館にオンライン会議の場や学習スペースがあると便利になる。
- ・新たな公民館には情報提供や地域交流の機能を充実させてほしい。

アクセス

- ・地域の魅力は感じているが、車がないと移動できない。くるりんバスなどアクセス性を向上させたい。

利便性

交通安全

- ・公民館周辺など旧道は道が狭く交通量も多いため危険。施設へ安全に通える道を整備してほしい。
- ・徒歩でも自転車でも安全に移動できるまちになるとよい。

防災

- ・「想定外」といわれることが増えている。災害時を考慮して施設の配置を考えたい。
- ・伊勢湾台風では小中学校敷地が浸水した記憶がある。安全だと聞いてもやはり心配。
- ・自力で避難できない乳幼児が通う保育園は安全な場所に配置したい。

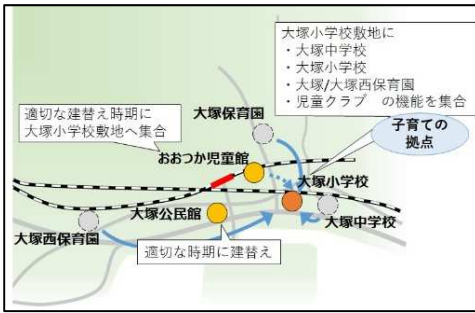
安全

- ・複合化や交流の視点も大事だが、子ども達のセキュリティも重要だ。

その他

- ・自然が多いのが大塚の魅力だ。施設も自然を活かせる魅力につながるのではないかな。
- ・若い世代が移り住んでくれるような地域を作りたい。
- ・大人だけでなく子ども達の目線でも暮らしやすいまちになってほしい。

C案 子育ての拠点をつくるプラン



〈概要〉

- 大塚小学校の敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚保育園、大塚西保育園、児童クラブの機能を集合します。
- 大塚公民館は現地で維持し、適切な時期に建て替えます。
- おおつか児童館は適切な建て替え時期に大塚小学校敷地へ集合します。

〈いただいたご意見〉

- ・公民館は様々な世代が集まる場所なので地域の中心にあるのが良い。
- ・小中学校と保育園が一緒だと、勉強に集中できるか心配だ。

再配置を考えるうえで配慮すること

第5回ワークショップでは、再配置案の絞り込みを行うとともに公共施設の再配置を考える際に配慮してほしいことや、今後市に検討してほしいことについてもご意見をいただきました。

跡地利用

- ・大塚には公園が少ないため、整備後の跡地を公園として活用してほしい。
- ・大塚西保育園が移転した場合、スポーツができ、避難場所にもなる大屋根付きのオープンスペースを整備したい。

交通安全

- ・保育園の送迎を考えると、施設周辺の交通安全も考慮していきたい。
- ・通学の安全性を確保するため、道路の安全対策を講じてほしい。

防災

- ・地区内の地域集会施設は、相楽ひめはる会館と同様に届け出避難所にとよい。

その他

- ・バリアフリーやユニバーサルデザインなど誰でもやさしい施設にしてほしい。
- ・通学距離が長くなる場合、自転車やくるりんバスを利用し、アクセスの改善を考えてほしい。
- ・公民館は若い世代にも利用されるよう、学習室の整備、夜間利用の拡充など工夫するとよい。

皆さまからいただいたご意見を参考にして市は「地区個別計画」を策定します。

ワークショップに参加された方をはじめ、オープンハウス（パネル展示型説明会）でアンケートにご協力くださった方など、多くの方から貴重なご意見をいただきました。ご協力いただき、まことにありがとうございました。

これまで皆さまからいただいた様々なご意見を参考にして、市はさらに検討を行い、将来の大塚地区の公共施設の配置や活用方法を定める「地区個別計画」を策定します。

〈ワークショップに参加してくださった方の感想〉

- ・大塚地区の全体像が見えてきて参加して良かったです。
- ・将来の大塚地区が住みよい安全・安心なまちを作ることに最善を尽くされている事をありがたく思いました。
- ・先輩の方々の意見が聞けて良かった。防災の意識も高まりました。
- ・子育て世代から、多世代が暮らしやすいまちにしたいですね。そのための安全な通学路の確保や施設統合も視野に入れた今回のワークショップでの意見交換が、自然豊かな魅力有る大塚地区発展の役に立てたら良いですね。

ご意見募集

- ワークショップで検討されてきた内容について
- 大塚地区のまちづくりや公共施設について

右の「お問い合わせ先」まで、メール・ファクス・郵便・持参により、ご意見をお届けください。

差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、連絡先の記載をお願いします。

お問い合わせ先

蒲郡市総務部 公共施設マネジメント課
〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号
TEL 0533-66-1214
FAX 0533-66-1183
E-mail k-mane@city.gamagori.lg.jp



詳細はHPに掲載しています。

（右のQRコード、または市HP 記事ID「0205697」で検索）